

ことばにするって

井ノ上 瑛稀

ぼくには大切な友だちがいるんだ。友だちみたいな、家族みたいな存在。名前はパンセ。

パンセは犬だけど、人間のことばが分るんだ。だって、ぼくが話すときいつも笑ってるし、ぼくが怒るとパンセも怒ってる。

ぼくは人見知りだから友だちがいないけど、パンセがいるからいいんだ。パンセはいつだってぼくの味方なんだ。

でもある日、けんかしちゃった。だって、パンセが悪いんだ。ぼくが時間をかけてつくったパズルこわしちゃったんだから。パンセはすごく泣きそうな顔でぼくのこと見てきたけど……、ぼくは許さないよ。泣きそうな顔のパンセに、ぼくはいった。

「あっち行ってよ!」って怒っていった。

すると、パンセはトボトボどっかへ行った。ちょっとだけいいすぎたかな……、でも悔しい気持ちは終わらなかった。

いつも夜ごはんは、パパとママとパンセとぼくで食べるんだけど、今日はパンセがいなかった。ママに、

「パンセどこ行っちゃったか知らない?」って聞かれたけれど、

「知らないよ!」っていっちゃった。

本当は心配しているんだ。でも悔しい気持ちは終わらない。

今日はぼくの大好きなカレーだけど、ちょっとだけ味がうすく感じた。寝るときも、いつもパンセと寝るのに、いなかったからちょっと寒く感じた。

なんであの時、ごめんねっていえなかったんだろう……。パンセは人間のことばが分かるのに、なんでぼくあんなこといっちゃったんだろう…。

次の日の朝も、パンセは帰ってこなくて、ぼくはどうとう泣いちゃった。

「パンセ～、パンセ～」って、名前を呼びながら泣きじゃくった。ママが、

「じゃあ、いっしょにパンセのこと、探しに行こう」っていったから、ぼくはママと探しに行った。

パンセとよく行く公園、パンセが通ると必ずにおいを嗅ぐ草むらのある道、いつも、小学生在がパンセをヨシヨシしてくれる近くの小学校、どこにもいなかった。

やっと見つけたのは、帰り道にある河川敷だった。たしかここは、ぼくがママに怒られて泣いていたとき、パンセもクワンクワンって泣いたところだ。ぼくに怒られて、パンセもここで泣いたのかな。ぼくはパンセに抱きついた。

「パンセ、ごめんね」っていっばい言った。

パンセは口をおっきく開けて笑ってた。やっぱり、人間のことばが分かるんだ。家に帰

って、

いっぱいお話するぞー!

ことばにするって大事なこと。伝えるって大事なこと。いwanaきゃ分かんないよね。

嬉しいも楽しいも悲しいも、いwanaきゃ、あとで寂しい気持ちになっちゃうから。でも、
どうせ

ことばにするなら、あったかいことばがいいよね。

だから、ぼくは今日も、パンセにいうんだ。ありがとうと、ごめんねと、
「パンセ、だいすきだよ」って。